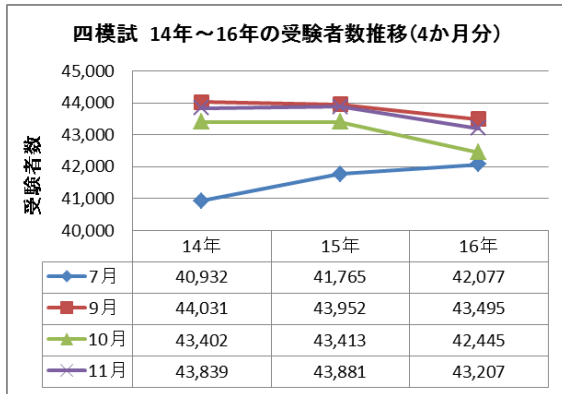


## 7月～11月首都圏四模試受験者数の推移

～首都圏四模試受験者数の推移をみれば、翌年中学入試受験者数の動向がわかります～

### ●四模試 14年～16年の受験者数推移（4か月分）



7月～11月の四模試受験者数（模試参加人数）を2014年～2016年の推移で分析しました。

7月は、2016年はそれほどではありませんが、2014年と2015年では明確に9月や10月の受験者数に比べると少ない傾向があります。2014年～2016年では増加傾向が見られます。

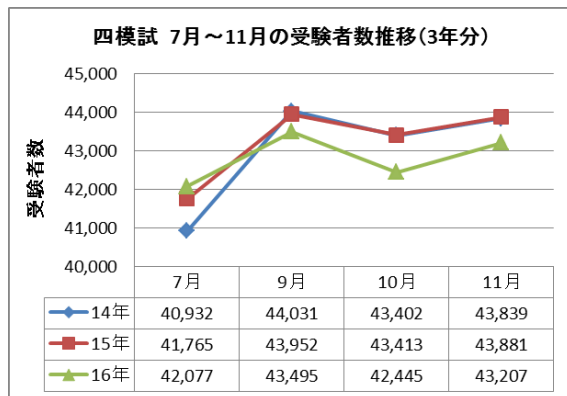
9月は、11月並みで7月や10月の受験者数に比べると多く、2014年～2016年ではやや減少傾向が見られます。

10月は、7月受験者数よりも多く、9月の受験者数よりも少ないことがわかります。2014年～

2016年では9月・11月よりも明確に減少傾向が見られます。

11月は、9月受験者数とほぼ同じ推移で、2014年～2016年ではやや減少傾向が見られます。

### ●四模試 7月～11月の受験者数推移（3年分）



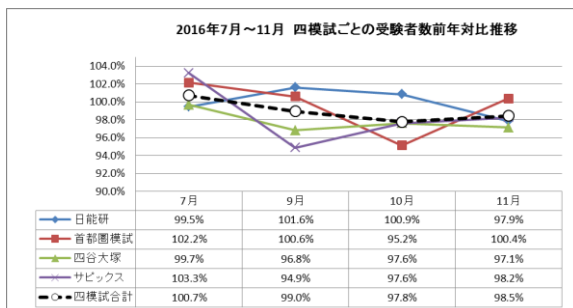
2014年～2016年の四模試受験者数を7月～11月の推移をグラフにしました。7月の受験者数は2014年が多少少ないものの、2014年～2016年ともほぼ同じです。しかし、9月は、2014年と2015年がほぼ同じで、2016年だけがやや少なくなっています。

10月は、2014年と2015年はほぼ同じ受験者数でした。しかし、2016年の10月受験者数は、2014年や2015年よりも顕著に少なく、異常な状況となっています。

11月も、2014年と2015年はほぼ同じ受験者数で、2016年の11月受験者数は、2014年や2015

年よりも少ない状況は変わりません。

### ●2016年7月～11月 四模試ごとの受験者数前年対比推移



四模試合計をみると、2016年7月の合計受験者数前年対比は、わずかですが前年を上回り100.7%となりました。その原因を模試ごとにみると、プラス要因は首都圏模試とサピックスで、マイナス要因は日能研と四谷大塚でした。

9月の合計受験者数前年対比は、大幅に前年を少し下回り99.0%となりました。マイナス要因は、サピックスと四谷大塚でした。

10月の合計受験者数前年対比は、2ポイント以上も前年を下回り97.8%となりました。プラス要因は日能研だけで、その他はマイナス要因でした。

11月の合計受験者数前年対比は、1.5ポイント前年を下回り98.5%となりました。プラス要因は首都圏模試だけで、その他はマイナス要因でしたが、どの模試も平均値に収束してきました。この減少率は小6人口の前年対比の減少-1.6ポイントとほぼ同じで、**小6人口が原因**と考えられます。2017年入試の受験者数は、前年比98.5%程度になる可能性があります。

データ提供：森上教育研究所 (<http://www.morigami.co.jp/>)

掲載：株式会社インターエデュ・ドットコム (<http://www.inter-edu.com/>)